

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 15日

事業所名 それいゆ療育センター佐賀

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環 境 ・ 体 制 整 備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%				
	②	職員の配置数は適切である	75%	25%		法律に基づく必要な人員を配置している。	適切な人員配置を今後も継続していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%				
業 務 改 善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%				
適 切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%				
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100%				
関係機関 や保護者 との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	50%	50%		保護者から学校の情報を提供していただいている。	今後も学校での様子は保護者から情報提供していただき把握に努めたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	25%	50%	25%	今年度は該当者なし。受診されている医療機関等については利用開始時や年度毎に保護者より情報提供いただいている。	受診されている医療機関等については保護者からの情報提供をしていただくよう継続して取り組む。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%		ご希望に応じて相談支援事業所を中心として情報提供をしたり、支援会議に参加している。	今後も相談支援事業所を中心に連携し、情報共有と相互理解に努める。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%		ご希望に応じて相談支援事業所を中心として情報提供をしたり、支援会議に参加している。	今後も相談支援事業所を中心に連携し、情報共有と相互理解に努める。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	25%	50%	25%	必要時や要請があった場合にに応じている。	必要時や要請時は、関係機関に要請し、指導助言を求めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			100%	事業所としては、児童の特性や支援内容に合わせて事業所内での活動プログラムを組んでいて他機関との交流は行っていない。	併用利用されている児童もいるため、放課後児童クラブや児童館での様子は保護者から情報収集し、支援計画立案の参考としている。今後も継続する。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	50%		50%	今年度参加無し	自立支援協議会には機会があれば参加し地域連携に努める。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%				
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75%	25%		保護者対応の担当者が年3回保護者会として実施している。	療育時の見学や支援会議等で具体的な支援方法を提案すると共に今後も保護者会を計画し、子どもへの対応や関わり方等を伝えられるよう努める。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%				
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	50%	50%		ご利用時に支援内容や活動の様子は保護者に伝えている。利用日程は書面にて伝えている。児童には活動の予定を提示して変更点も伝えている。	今後も利用時や支援会議時に連絡や情報を伝えていく。
	③⑮	個人情報に十分注意している	100%				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25%	25%	50%	実施していない。	児童の特性や個人情報保護の観点により今後も計画はない。児童が地域の中で生活しやすくなるような学習等を継続して行う。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	75%	25%		現在、該当者なし。	該当者がいる場合は、保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載する。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%		保護者から聞き取りやアンケートにて確認している。	今後も保護者からの聞き取りやアンケートで確認し、保護者から情報提供があった際には、必要な対応を行う。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	25%	75%		事例があった場合はミーティング等で情報共有をしている。ヒヤリハット報告書は事業所内で共有できるようにしている。	ミーティングで情報共有をするとともに、発生時は書類を作成し、対応を検討していく。